

## 昭和54年度第1回シグマ研究委員会運営委員会議事録

日 時 昭和54年4月10日(火) 13:30~17:00  
場 所 原研本部第23会議室  
出席者 塚田(委員長, 日大), 久武(東工大), 松延(住友原工),  
中嶋(法大), 飯島(NAIG), 大竹(動燃), 宮坂(核管  
セ), 関(MAPI), 田中, 更田, 菊池(康)(原研)  
オブザーバー: 原田, 浅見(哲)(原研)

配布資料 : 前回議事録

### 議 事

1. 前回議事録確認
2. 人 事

更田委員より, 塚田委員長が4月1日付で原研を退職, 日大原子力研究所に移ったが, 原研の特別研究員として残るのでこれまで通りの形で継続するとの説明があった。

54年度本委員については先に事務局案で郵便により承認をえているが, その際に出された意見が事務局より紹介され, 委員の追加等について審議が行われた。審議内容をもとに事務局で検討することにした。

3. INDC Document 配布リストの検討

更田委員より, これまでに寄せられた意見の紹介があり, 討議の結果, 事務局で整理して処置することにした。

4. 本委員会の議題の整理

討議の結果, 次のものを取り挙げることにした。

- (1) 事務局報告
- (2) 専門部会, WG活動報告及び54年度計画の検討
- (3) 人事
- (4) 講演「原子分子データ研究の現状」

講師は原田氏及び中井氏(原研)に依頼する。

- (5) JENDLの現状

## (6) 研究会

上記の(2)については、ハイライトを中心に報告してもらうことにし、説明用資料の用意を事務局より各グループリーダーに依頼することにした。(6)については、non-neutron関係を主題にすることとし、トレーニング・スクールと合わせてやることを検討することにした。研究会の世話人として久武、中嶋、原田、田村、梅沢、更田(事務局)各委員が選出された。

また、監査小委員会の54年度の役割について議論があり、昨年行った監査を毎年やる必要はなく、昨年出した監査結果に関しwatchしてもらい、次の監査小委員のやるべきことを提案してもらうことにした。このため現小委員にもう1年継続してもらうことにした。

本委員会は5月10日(木)11時より原研本部で行うことにした(後日、都合により5月11日(金)に変更になった。)

## 5. CINDA配布リストの再検討

更田委員より、CINDAに余分があるため追加配布をしたいので意見を出して欲しいとの説明があった。

## 6. その他

### 1) 核図表グループ

久武委員より、核図表の改訂について次のような説明があった。久武、田村、吉沢、橋爪委員で討議して、理研の核図表の改訂作業とは別個に行うこと、改訂にはENSDFのデータを中心に考えることにした。改訂版を来年7月に発行したい。この作業のため堀口氏(広大)を委員に加え、吉沢、堀口氏でサブWGをつくってやる。

### 2) ガンマ線生成断面積評価WG

飯島委員よりこのWGのメンバーが決まり、発足したことが報告された。

### 3) JENDL-2

菊池委員よりJENDL-2編集の現状について説明があった。3月5日に打合せ会を行い、構造材核種の評価方法や評価の進め方を検討した。5月末までにFe, Ni, Crデータの編集を終る予定である。重核の共鳴パラメータについても、最近会合を持ち、5月上旬までに各分担毎に

データを持ち寄ることになっている。

4) FP Newsletter

菊池委員よりFP Newsletter についてのアナウンスがあり、まとめるに当り国内の連絡先を紹介して欲しいとの依頼があった。

5) Specialist Meeting on Neutron Source Properties  
について

この会合の出席について、IAEAの岡本氏より塚田委員長の推薦、京大炉の木村委員より関口、藤田、中村氏の推薦のあったことが更田委員より報告された。

6) 2年報

編集委員として、中嶋、飯島、関、菊池委員が選出され、本委員会のときに事務局案を出すことにした。

7) 委託調査

更田委員より54年度委託調査について希望や意見があったら出して欲しいとの依頼があった。

次回は6月7日(木)東海研で行う予定